新技術積算基準類について
～令和 8 年度は 15 技術が適用～

国土交通省 大臣官房 参事官（イノベーション）グループ 施工企画室

1. はじめに

公共工事等に関する優れた技術は，公共工事等の品質の確保に貢献し，良質な社会資本の整備を通じて，豊かな国民生活の実現及びその安全の確保，環境の安全・良好な環境の創出，自律的で個性豊かな地域社会の形成等に寄与するものです。優れた技術を持続的に創出していくためには，民間事業者等により開発された有用な新技術を，公共工事等において積極的に活用していくことが重要になります。

国土交通省では，「公共工事等における新技術活用スキーム」（以下，「新技術活用スキーム」という）を定めて運用しており，公共工事等に関する技術に係る情報の収集，直轄工事等における新技術の活用及び事後評価等の実施，並びにこれらにより得られた情報等の共有及び必要な提供を行っています。

2. 新技術積算基準類について

「公共工事等における新技術活用スキーム」実施要領（以下，「「新技術活用スキーム」実施要領」という）は，「新技術活用スキーム」の運用とその他の必要な事項について定めたものです。

「新技術活用スキーム」実施要領において，公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術を「推奨技術」，推奨技術とするためには更なる発展を期待する部分がある新技術を「準推奨技術」として位置づけ，当該新技術の普及啓発や活用促進等を行うこととしています。

新技術積算基準類は，上記の「推奨技術」や「準推奨技術」である有用な新技術の活用促進を目的に積算基準類としてとりまとめたものであり，令和 6 年度から整備して各地方整備局等へ通知，令和 7 年度からの工事に適用しています。

3. 令和 8 年度の 15 技術

令和 7 年度は新たに 10 技術について積算基準類を整備し，令和 8 年度から適用を開始します（表－ 1）。

また，令和 6 年度に整備した 5 技術についても内容の再確認を行い，令和 8 年度も適用を継続します（表－ 2）。

令和 8 年度は合計で 15 技術が適用となっており，新技術情報提供システム（NETIS）のホームページにて積算基準類を公開しています。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/］

表－1　新たに整備する 10 技術

登録番号	技術名称
KT-230174-VE	建設用 3D プリンティング
QS-180038-VE	パワーブレンダー工法（横行施工）
SK-200003-A	トモロボ
TH-160010-VE	吸水性泥土改質材「ワトル」
SK-180020-VE	法面設置点検用階段・非常階段
KT-200133-VE	砕石メッシュかご「かご楽」
CG-130006-VE	ハレーサルト張り出し歩道
QS-170005-VE	クマンツメ
KT-160124-VE	ロードライン マーキュリー ドライサポート工法
HK-140002-VE	橋梁用埋設型排水桝

表－2　適用を継続する 5 技術

登録番号	技術名称
CB-180013-VE	ウォータージェットはつり処理工法（ジェットマスター JMK-2100）
HK-200001-VE	高機能床版排水パイプ設置工
KT-210028-VE	油圧ハンマの騒音防止装置を使用した鋼管杭の打止め工法
HR-220004-A	消雪パイプ温水高圧洗浄「リバーサルクリーニング」
CB-160026-VE	SAVE コンポーザー HA

4.　新たに整備する 10 技術の概要

⑴　建設用 3D プリンティング

本技術は，建設用 3D プリンティングに最適化した専用モルタル材料を活用して，建設現場に必要な多種多様なコンクリート構造物を少ない人手と資源で品質の良い製造が可能となる技術です。

人手不足や工期の不安定課題に対しての施工効果はもちろん，迅速性や安全性が特に求められる状況や地域においても高い施工効果を見込むことが可能となります。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230174%20］

⑵　パワーブレンダー工法（横行施工）

本技術は，軟弱地盤を強固にする地盤改良技術（セメント固化）です。

地盤改良は，互層地盤を均質に固化させる必要があるため，全層（複雑な地層）を鉛直方向に撹拌しながら横方向にも連続施工させることを可能にした横行施工技術です。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-180038%20］

⑶　トモロボ

本技術は，建設現場で行われている格子状に組まれた鉄筋の交点を鋼線で締め上げて固定する，“鉄筋結束作業”という心身ともに大きな負担を伴う作業を人の代わりに行うロボットです。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-200003%20］

⑷　吸水性泥土改質材「ワトル」

本材料は，吸水性の高いペーパースラッジ焼却灰（PS 灰）を主原料とした泥土改質材であり，PS 灰に補助薬剤と水を添加混合後乾燥処理したものです。

本材料を泥土に添加混合することで，泥土中の水分を吸収し即時に泥土の強度を高めることができます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=TH-160010%20］

⑸ **法面設置点検用階段・非常階段**

本技術は，主に傾斜地等における現場の点検管理に用いる組立式階段であり，階段部分への手摺設置を可能とした技術です。

従来の手摺は階段部分とは別に杭の打込み等が必要でしたが，本技術の活用によりそれらの工程が不要となるため，施工性及び経済性の向上が期待できます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-180020%20］

⑹ **砕石メッシュかご「かご楽」**

本技術は，網目を細目化しＬ型本体パネルと中枠で構成され，中詰め材に砕石（40 mm 以上）を使用するドレーン工，土留工等に適用可能なかご工です。

底面がないため部材がコンパクトで，置場を取らず運搬・設置が容易となります。また，仕切り網がないため，中詰め作業も容易で，従来工法に比べて工程の短縮，経済性の向上及び施工性の向上が図れます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-200133%20］

⑺ **ハレーサルト張り出し歩道**

本技術は，高炉スラグ微粉末と高炉スラグ細骨材により緻密な組成とした超高耐久性プレキャストコンクリート製品用コンクリート「ハレーサルト」を使用して，凍害・塩害・それらの複合劣化に対する抵抗性を高め，長期間併用を可能としたプレキャスト張り出し歩道です。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-130006%20］

⑻ **クマンツメ**

本技術は，道路維持修繕工における舗装版剥ぎ取りにおいて，２次剥ぎ取りとしてバックホウの刃先に特殊なエッジ（本技術）を取付けて剥ぎ取るもので，従来のような剥ぎ残しが少なくなるため，作業効率の向上が期待できます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-170005%20］

⑼ **ロードライン マーキュリー ドライサポート工法**

本技術は，水性路面標示に特殊硬化液を塗布し速乾させる工法です。

水性路面標示様塗料「ロードライン マーキュリー」の塗布直後に，後撒きで特殊硬化液「ドライサポート」を塗布するものです。舗装路面に塗装された路面標示材の乾燥時間を著しく早める効果により，作業時間及び交通規制時間が短縮され，施工性と安全性の向上が図れます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-160124%20］

⑽ **橋梁用埋設型排水桝**

本技術は，橋梁の床版防水層に滞留する雨水を床版勾配の最下流で排水するための水抜き用排水桝です。

伸縮装置の取換え工事と同時に設置することができ，排水経路は遊間を利用するため床版に削孔する必要がなく，短時間で設置が可能になります。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-140002%20］

5. 適用を継続する５技術の概要

⑴ **ウォータージェットはつり処理工法（ジェットマスター JMK-2100）**

本技術は，超高圧水によりコンクリート床版のはつり作業を伴う工法です。

人力では保持が不可能であった大水量の超高圧水を機械に保持させ自動制御させることで，施工箇所に対し安定的，均一に噴射でき，ウォータージェット工法の安全性と品質の向上に貢献します。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-180013%20］

⑵ 高機能床版排水パイプ設置工

本技術は，道路橋における床版の水抜きをする製品であり，橋梁新設工事だけでなく，橋梁補修工事においても床版水抜きのために排水パイプを設置する工事に適用できます。

今まで排水することができなかった床版防水層下面の水も排水することができ，床版下部に接続する配水管の脱落問題や排水パイプ内での凍結問題等が軽減されます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-200001%20］

⑶ 油圧ハンマの騒音防止装置を使用した鋼管杭の打止め工法

本技術は，市街地における鋼管杭施工時の先端処理を打撃方式での打止め施工を可能とする低騒音・無排土の施工技術です。

本技術の活用により，杭の支持力が容易に確認でき，品質の信頼性の向上が図れます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-210028%20］

⑷ 消雪パイプ温水高圧洗浄「リバーサルクリーニング」

本技術は，洗管リード・垂直洗浄ノズル・100℃の温水を用いた消雪パイプの高圧洗浄工法です。

水垢等が厚く固着し，従来技術では洗管ホースの送管が困難な消雪パイプでも，洗管リードにより牽引することで円滑な送管が可能となります。

また，垂直洗浄ノズルと100℃の高温水の作用により，水垢等を効率的に除去できることで，工程の短縮と経済性の向上が図れます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HR-220004%20］

⑸ SAVE コンポーザー HA

本技術は，軟弱地盤の中に含まれる硬い部分（N 値 35 程度の砂層まで）への貫入能力が向上した無振動・低騒音のサンドコンパクションパイル工です。

支持層へ到達したことを管理装置の画面上に文字情報として表示できるシステムを装備することで，視覚的にオペレーターに伝えることができます。

［https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-160026%20］

6. おわりに

令和 8 年度は 15 技術の積算基準類が適用となりました。

今後も有用な新技術の積算基準類も整備を進めることで，新技術の活用促進を行ってまいります。

また，新技術の積算基準類の整備にあたり，ご協力いただいた開発社の皆さまに厚く御礼申し上げます。